

第 18 期海外探検隊 （2022 年春派遣）募集要項

海洋生命科学部・海洋資源環境学部



（第 14 期シンガポール隊）

○海外派遣キャリア演習／長期学外実習（海外）プログラム「海外探検隊」について

本プログラムへの参加を通じ、学生は以下に掲げる目標の実現を目指すこととする。

- 幅広い分野に関心を持ち、将来イノベーションを起こせる人材になることを目指す。
- 異なる価値観や世界観などの多様性を受容し、良好な人間関係を構築する方法を体験学習する。
- グローバルに活躍する社会人と交流し、社会常識やマナー、グローバルマインドを学ぶ。
- 海外生活や異なる環境に適応する能力及び技術を獲得する。
- 英語や現地の言語を使って意思疎通を取り、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

1. 応募資格

- 「2021 年度」に東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部の 1 年生から 3 年生であること。
- 原則 TOEIC L&R スコア 600 点以上であること。ただし、点数が足りない場合でも、今後積極的に英語力の向上に取り組むことを約束する場合、応募可とする。
※TOEIC スコアが 600 点に満たない者は、渡航前までに英語学習アドバイザーのカウンセリングを受け、TOEIC 点数アップに向けた具体的な英語学習計画を提出すること。
- 現地では英語でコミュニケーションをとり、プレゼンテーションをする機会も数多くあるため、そうした状況下でもしっかりと準備をして、チーム一丸となって課題に取り組むだけの覚悟があること。
- 約 1 カ月間、人間関係でも生活環境でも、日常と違う状況の中で生活し研修を行うことを認識したうえで、派遣期間中の全日程に参加可能であり、かつ、協調性があり、心身ともに健康でチームワークよく集団生活ができること。
- グローバルな活動に意欲が高く、プログラムを充実させるために主体性を発揮することができること。
- 父母等に参加の同意を得ていること。
- 海外派遣時および帰国時に、派遣先の国・地域または日本政府の要請で PCR 検査受検や一定期間の自宅待機等その他の措置が設けられた場合、その要請に必ず従うこと。

注 1) TOEIC L&R 600 点に満たない者は、出発前、もしくは帰国後に積極的に受験をして TOEIC 点数の推移をグローバル教育研究推進機構に報告すること。

注 2) 2022 年春派遣の場合、派遣先の志望順位を記載することを可とする。派遣を希望しない国がある場合は、必ず空欄にすること。

注 3) 過去に応募して選考されなかった学生の再応募を歓迎する。

注 4) 過去に選考された学生の 2 回目の応募も可とするが、初めての応募者を優先的に選考する。

注 5) 新型コロナウイルス感染症流行の影響やその他の緊急事態の発生により、学生の海外渡航を認めないとする大学判断があった場合、派遣は中止する。派遣可否の最終判断は 2022 年 1 月 20 日（派遣日の約 3 週間前まで）に行うものとするが、それ以降に感染症等の状況悪化により、急遽派遣が中止となることも想定したうえで参加を希望すること。尚、派遣中止による航空券やホテル、現地で参加予定のツアー等の払い戻しは、派遣される学生本人が行い、万が一、キャンセル代が発生した場合でも、大学はそのキャンセル代を負担できないことを参加予定者は了承すること。

2. 活動内容

(全プログラム共通)

- ① 現地の行政機関、企業やビジネスマンの協力を得たオリエンテーションの実施
- ② 訪問先例：日本国大使館、日本貿易振興機構、日本商工会議所、科学技術振興機構、その他
外資系、日系、ローカル資本系企業など。派遣国のパートナー大学との共同プログラムと位置づけ、
現地の学生の参加を呼びかけることで、二国間の学生交流を深める（派遣国により交流内容は異なる）。
- ③ 現地にて「成果報告会」を実施するが、その内容は担当教員の指導の下、学生が企画・運営する。
注）現地で成果報告会を実施しない場合、代わりに国内で成果報告会を実施する。派遣国によっては
海外・国内の両方で成果報告会を実施する。

～派遣先別～

<キャリアプログラム>

シンガポール：シンガポール国立大学大学院／熱帯海洋科学研究所、企業研修等

<リサーチプログラム>

台湾：台湾大学大学院／海洋研究所

※ タイ、ベトナム、中国及び欧州向けのプログラムは、2022 春派遣は実施しない。

※ 研修予定企業等の事情により、研修の中止や変更、内容の変更の可能性あり。

※ 参考ホームページ：<https://www.kaiyodaiglobal.com/abroad/>

3. 派遣先・人数・派遣期間

派遣先	派遣人数	派遣期間
シンガポール	4 名	2022 年 2 月から 3 月を予定（約 4 週間）
台湾	4 名	2022 年 2 月から 3 月を予定（約 4 週間）

派遣人数は 2 カ国で合計 8 名とする。

※ 過去に居住または長期滞在したことがない国への派遣を優先する。（派遣国の中に過去に居住や長期滞在した国がある場合、必ず事前に自己申請すること。）尚、居住や長期滞在には短期の旅行等（1 週間程度）は含めない。

※ 派遣人数は、品川、越中島両キャンパスから参加する学生の総数である。

※ 上記派遣期間には、派遣先国・地域の要請に基づく入国時の指定施設等における待機期間が含まれる可能性がある。

4. 参加費用

派遣先	予想される経費 (渡航費・生活費・宿泊費・保険等)
シンガポール	約22～24万円
台湾	約18～20万円

※海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金（同窓会）からの渡航費支援を申請できる場合がある。

5. 派遣先について

派遣先は本人の適性と志望動機及びプログラム内容との適合性を考慮して決定する。

6. 授業科目としての取り扱いについて

・本演習は基礎科目「グローバル・キャリア関連科目」である。

なお、旧カリキュラム適用者は「学部共通専門科目」である。

1回目 海外派遣キャリア演習Ⅰ（2単位）

2回目 海外派遣キャリア演習Ⅱ（2単位）

※ 注意：新型コロナウイルス感染症の影響またはその他の緊急事態の発生により派遣が中止となった場合は、単位を付与しない。

7. 応募方法

(1) 提出書類

- 参加志望書（所定の様式、下記 HP アドレス参照）
- TOEIC L&R スコアレポートのコピー（IP も可）※未受験者はその他の資格試験も可。
- 成績通知書のコピー（成績証明書は不可。）
- 面接時間調整表（所定の様式、下記 HP アドレス参照）
- 海外探検隊_参加条件確認書

※ 原則として、応募書類は返却しない。

※ 応募書類で取得した個人情報は、今回の選考以外には使用しない。

「参加志望書」「面接時間調整表」は

グローバル教育研究推進機構HPに入りダウンロード

<https://www.kaiyodaiglobal.com/abroad/abroad3/application/18.html>



(2) Web 登録

下記 URL より、必要事項を入力

<https://www.kaiyodaiglobal.com/form/other/4326.html>



8. 募集説明会および応募締め切り日と提出先

第 18 期海外探検隊募集説明会： 2021 年 10 月 12 日（火）昼休み、オンラインで実施

郵送にて提出： 2021 年 10 月 15 日（金）午前中必着

電子メールにて提出： 2021 年 10 月 18 日（月）午前中必着

※メール添付の場合は、PDF に変換して提出のこと

提出先：グローバル教育研究推進機構（品川キャンパス大学会館 2 階グローバルコモン内）

※書類に不備があった場合、再度修正して期限内に再提出すること。

9. 選考方法、選考結果について

- 書類選考後、書類選考通過者にオンライン面接を行う。
- 書類選考の結果は、グローバル教育研究推進機構より各自にメールで連絡する。
- 面接は 10 月 22 日（金）、25 日（月）、26 日（火）にオンラインにて実施予定。
- 最終選考結果は 10 月 29 日（金）までに各自にメールで連絡する。

10. その他注意事項

- ・ 派遣にあたっては、本人・父母等（注）から誓約書の提出を求めるので、事前に父母等に参加についての同意を得てから応募すること。
- ・ 派遣期間終了後、海外派遣キャリア演習／長期学外実習（海外）プログラムの学内外の広報及び、次期生募集のガイダンス等に協力すること（帰国直後に開催される活動報告会への参加は必須、その他は任意）。
- ・ 活動記録として、ホームページや事業報告書等にプログラム実施中に撮影した写真を掲載する場合があることを承諾すること。
- ・ 選考された学生には、事前研修を実施する。内容は、オリエンテーション、英語研修、危機管理セミナー、プレゼン研修、社会人交流研修など。研修スケジュールの詳細は、グローバル教育研究推進機構に確認すること。（2022年春派遣に関しては、各研修は対面、もしくはオンラインで実施する。研修当日はアルバイト等の予定を入れず、原則全日程に参加すること。）
- ・ 事前研修に2/3以上の出席がない場合、自動的に参加資格が失効するため、注意すること。
- ・ 派遣国・地域にはノートパソコンまたはタブレット端末を必ず携帯すること。
※プレゼンテーション資料作成に必要なため。
- ・ クレジットカード未取得者は、派遣が決定次第、クレジットカードを作成することを推奨する。
- ・ パスポート有効期限は渡航日から半年以上あること。
- ・ 以上の注意事項は、プログラムを成功させるために大変重要であるため、必ず守ること。

（注）「父母等」とは、学生を監督・支援する立場にあり、原則として父母又はこれに準じ、日本国内に居住する方とする。

11. 担当教員

教授 小松 俊明（グローバル教育研究推進機構）

12. 問い合わせ先

国立大学法人東京海洋大学グローバル教育研究推進機構

場所：品川キャンパス学生会館2Fグローバルコモン内

電話：03-5463-0816

Email：global@m.kaiyodai.ac.jp

HP：<https://www.kaiyodaiglobal.com>